

2015年5月23日（土）

天城山縦走

11年振りに天城山縦走を企画し、天城高原ゴルフ場登山口をスタートし、万二郎岳、万三郎岳から、八丁池を巡り、天城峠まで全長17km走破をトライする。

同じ5月23日の2009年の時は、万三郎山頂直下はアマギシャクナゲが満開で登山道はシャクナゲのトンネルになっていて、このアマギシャクナゲの鑑賞も今回の目的の一つでもある。

参加者は中島さん、小山さん、布目さん、岡部さん、石井さん、能勢さん、熊本の7名である。



JR伊東駅 7:50集合で、天城高原ゴルフ場行のバス停は既に長蛇の列で、バス2台では乗り切れないであろう。



1号車に中島、小山、布目、岡部、石井が乗り、座れたが、2号車の能勢、熊本は立ちで約1時間揺られた。



5分遅れの8:55に天城高原ゴルフ場に到着。登山準備を整え、簡単なストレッチ体操をする。



縦走路登山口で記念写真を撮りスタートする(9:05)。



檜林に入り、右図のようなツルツル木肌の太いヒメシャラが現れる



ヤマツツジも満開だ



スタートから 20 分弱で四辻に到着する



四辻は万二郎岳、万三郎岳からの下山コースの合流点・分岐点である。我々は左方向の万二郎岳に向かう



ヤマツツジを見ながら少しづつ高度を上げる。 出始めの可愛い小さなマムシグサが咲いていた



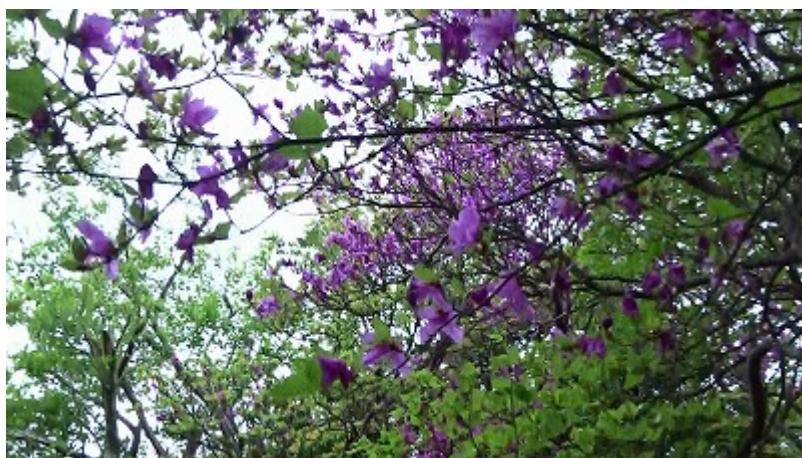
出発開始から約 40 分経過し、
徐々に傾斜がきつくなる



階段状の登りが現れると万二郎岳への急
登の始まりだ。



万二郎岳まで 0.3km の標識が出てきた。登山道はミツバツツジの花が落ち薄紫に染めていたが、木は見えない



暫く登ると、トウゴクミツバツツジの花が現れ、薄紫色が鮮やかだ。



トウゴクミツバツツジを写真に納める。



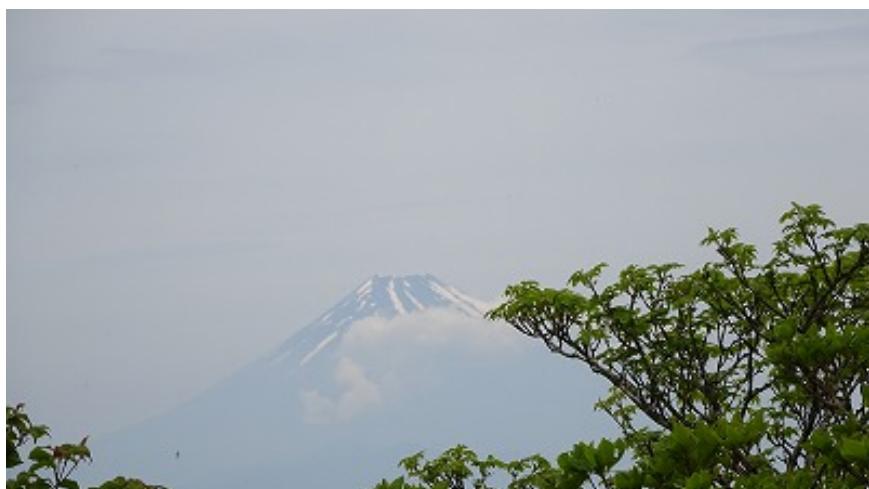
スタートから 1 時間 10 分で万二郎岳に到着



最初のピーク「万二郎岳（1299m）」で記念写真を撮り、小休止して次のピークへ



万二郎岳からは急下りの連続で慎重に下る。



急下り途中岩場から霊峰富士が望めた。
大分雪も溶けているようだ。



急下りを降り切ると、万二郎岳と万三郎岳との鞍部で平坦な登山道になり「馬の背」である(10:38)。



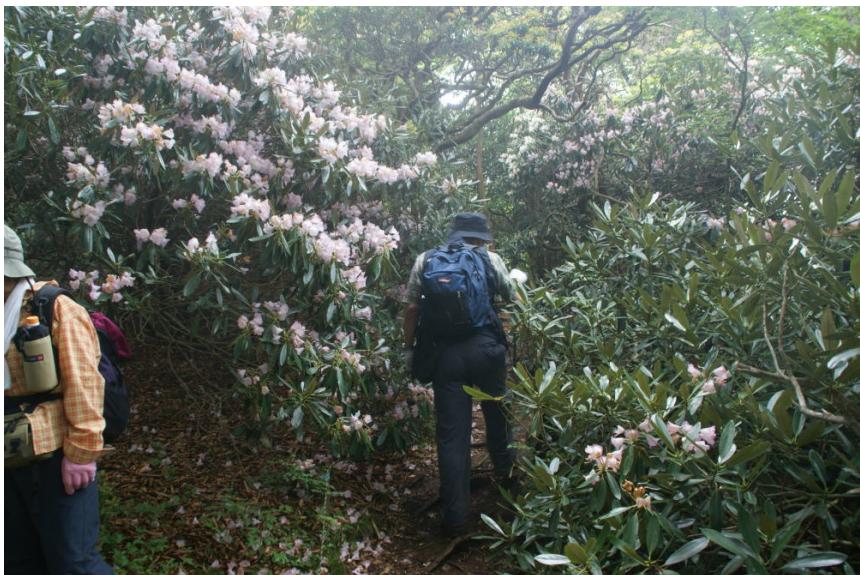
馬の背から更に進むと「馬酔木のトンネル」のである。アセビの木が密集しているが花はとっくに散っている



石楠立（ハナタテ）で吸水して息を整え、
いよいよ万三郎岳への急登が始まる。
そろそろシャクナゲの花が現れてもよい
のだが、一向に姿を現さない。
今年は花つきが悪いのかもしれない。

シャクナゲの木が現れても花が着いてなく、諦めかけたところ、何本かの木にアマギシャクナゲが咲いていた。
それも片手で数えられる位の木いしか咲いていない。





参考写真：

丁度 6 年前の 2009 年 5 月 23 日の山行時は、アマギシャクナゲが満開であり、登山道はシャクナゲのトンネルであった。



シャクナゲは残念ながら寂しい花つきであったが、トウゴクミツバツツジは満開で鮮やかに色づき綺麗だった



11:30 天城山最高点の万三郎岳に到着。山頂には「一等三角点」の大きな石柱があった。



天城山最高点の「万三郎岳（1405m）」で記念写真を撮った。山頂は登山客が一杯であり、樹林帯のなかで見通しもなく、山頂での昼食を諦めて更に進み、縦走路とゴルフ場への下山路の分岐点近くで昼食とした。



石井さんのザック重量は 13k と重く、爆弾を二つ用意していた。第一は赤ワインの氷付で、冷たいワインは汗をかいた喉に実に旨かった。



爆弾第二はこれも氷タップリのカフェオレとケーキ付で、女性陣は大喜びである。女性陣からのオカズの差し入れもあり、豪華な山昼食となった。



昼食場所付近のアマギシャクナゲ



豪華昼食を楽しみ、12:20 計画とオンタイムで縦走路へコースに向かう。このコースはブナの原生林だ。



ブナ原生林の中を下る。

枯葉の堆積した登山道は実に歩き易く、膝に良い。



下りは女性陣が先頭に立ち、皆を引っ張る。実に元気で強い。



ブナ林と若葉の新緑にかこまれて、肺の中が綺麗に洗われるようだ。



12:44 小岳を休まず通過



元気いっぱいの女性陣は余裕綽々。



13:13 戸塚峠に到着



戸塚峠には珍しい「ギンリョウソウ」が群生していた。



張りきりの 3 B

何故か写真の 3 人を 3 B と呼んでいた。
B=美人の B? B=Beautiful の B?
他に何かあったかな?

一方、男性 3 名は 3 G だそうだ。
G=Guy ではなく、ジジーの G だそうだ



枯れたたブナ大木に猿の腰掛が、
沢山ついており、それに座ってみた?
(14:20)



新緑の若草色が鮮やかで実に清々しく、
心地良い。



もう少しで八丁池に着く、頑張ろう。



14:35 八丁池に到着。天然記念物のモリアオガエルが生息する池だ。



休まず、1/4周して見晴台（トイレあり）に向かう。

出発開始から約6時間経過している。
見晴台から天城峠まで、後2時間を早歩きしないと修善寺行の最終バスに間に合わない。



現在の疲労度から天城峠までの早歩き2時間はリスクが大きく断念し、八丁池口のバス停に向かった。



15:25 に八丁池口バス停に到着した。

バスは一日に1便しかなく、16:20 の修善寺行バスに乗車する。ここでほぼ座席は埋まり、途中の天城峠バス停から大勢乗って来たが、みな立ちであった。結果として我々の八丁池口にコース変更は大正解であったようだ。



湯の国会館前でバスを下車し、温泉入浴&休憩する（¥850）。ナトリウム硫酸塩温泉のツルツル源泉。



天城山縦走の疲れと汗を温泉で流し、満足して缶ビールで乾杯！



修善寺駅から三島駅まで次回山行等の話と締めの焼酎で盛り上りました。

三島駅で、解散となり、在来線組と新幹線組に分かれ帰路に着きました。

八丁池までの天城山縦走、お疲れ様でした。

